

每天读一点日文

喜びも悲しみも常に素直に味わうことが大切

心灵 盛宴

日语优质美文读赏

毛莉 李玲◎编著

MP3
音频下载

日汉对译
典藏版

中国宇航出版社

每天读一

心灵 盛宴

日语优质美文读赏

毛莉 李玲◎编著

日汉对译
典藏版



中国对外翻译出版有限公司

·北京·

版权所有 侵权必究

图书在版编目(CIP)数据

每天读一点日文：日汉对译典藏版. 心灵盛宴 日语优质美文读赏 / 毛莉, 李玲编著. -- 北京：中国宇航出版社, 2017.3

ISBN 978-7-5159-1254-7

I. ①每… II. ①毛… ②李… III. ①日语—汉语—对照读物②世界文学—作品综合集 IV. ①H369.4: I

中国版本图书馆CIP数据核字(2016)第305291号

策划编辑 李琬琪

封面设计 李彦生

责任编辑 王雪

责任校对 刘东雪

出版 中国宇航出版社

社址 北京市阜成路8号 邮编 100830
(010)60286808 (010)68768548

网址 www.caphbook.com

经销 新华书店

发行部 (010)60286888 (010)68371900
(010)60286887 (010)60286804(传真)

零售店 读者服务部
(010)68371105

承印 三河市君旺印务有限公司

版次 2017年3月第1版 2017年3月第1次印刷

规格 787×960 开本 1/16

印张 22 字数 243千字

书号 ISBN978-7-5159-1254-7

定价 44.80元

本书如有印装质量问题, 可与发行部联系调换

前言 »

著名无产阶级作家高尔基曾说过：“我觉得，当书本给我讲到闻所未闻、见所未见的人物、感情、思想和态度时，似乎是每一本书都在我面前打开了一扇窗户，让我看到一个不可思议的新世界。”当我们阅读一本书时，其字里行间的智慧与美感常常会启发我们的思维，滋养我们的心灵。本着这个诚恳的愿望，且针对日语学习者的阅读需求，我们特编写了《心灵盛宴：日语优质美文读赏》一书，希望读者在学习日语的同时，也能够打开心灵这扇窗，得到点滴滋养、片刻启迪。

《心灵盛宴：日语优质美文读赏》涵盖了日本社会、文化、文学、语言等多方面的内容，所选文章篇幅适中，主题多样，包括爱情篇、友情篇、亲情篇、温馨篇、励志篇、幽默篇、哲理篇、经典篇八大篇章，所收篇目都是饱含感情、富有人生哲理或者彰显人生态度的作品。我们追求平凡叙事中意味深长的启发或撞击心灵的感动，希望您在掌握日语的同时，得到智慧与美的滋养。每篇文章下设置4个板块，分别为：日语原文、中文译文、美文赏析或“豆知识”，以及补充学习。中日对照的形式可以帮助您充分理解文章内容，掌握语言要点，提高阅读能力；补充学习部分可以帮您即时扫除阅读障碍，充实单词储备；美文赏析与“豆知识”则锦上添花，为文章意蕴点睛。此外，全书采用难字假名标注的设计，进一步助您畅享美文。

八大篇章主题不同，因此内容各具特色。

“爱情篇”展现的是恋人之间各异的相处方式，故事性十足。其实爱情就是平凡中见真情，是在细水长流、相濡以沫的生活的对彼此的信任与宽容。或许诚如所言：世间所有的相遇都是久别重逢。初见的缘分的确是美妙的，而在日复一日、天长地久的爱情中，懂得珍惜又分外重要。

“友情篇”则通过一篇篇或感动、或隽永、或轻松的小故事展现友谊的美好和珍贵。无血缘关系的人们只因为互相投契而彼此支撑、付出和包容。与爱情同样，真正的友情也经得起春去秋来，岁月流转，老朋友无需多言，即使

多时不见，再见只需寥寥几语，便可知经年故交还是儿时认识的这个人，你们对彼此，并未改变。

“亲情篇”收录的故事极为家常。故事各不相同，但对家人、亲人的爱以及背后无法言说的情绪和心境是一样的。对亲人，我们永远爱恨交织，身在旅途渴望回归，守在亲人身边却又会在某些时刻泛起微妙的情绪变化，一面厌倦，一面温暖，一面疏离，一面渴望，在这份生命最初的关系中生长出来的故事永远那样幽深动人。

“温馨篇”收录的小故事平淡却不平凡，字里行间流动着陌生人之间朴素的善意和温暖。沉默的帮助，无意间的关怀，小动作传达出的情义，举手之间的温柔用心……陌生人的善意映照出人性高贵的一面，来自陌生人的温暖格外触动，弥足珍贵。

“励志篇”的文章说理性强，架构清晰，主题表达明确直接，内在逻辑紧密，告诉您人生从没有真正的绝境，无论当下多么绝望、痛苦，从前经历过多少磨难、艰辛，只要心怀信念的种子，总有一天会让生命重新开花。人生如此，只要一个向上的信念在，希望就在，转机便孕育于此。

“幽默篇”以对话形式为主，收录了可以令人会心一笑又发人深省的选段，短小精悍，希望给您带去轻松的同时，也让您有所省思，并体会到日式幽默的精髓所在。

“哲理篇”收录的文章从细微处见真知，生活与人生的真意得以管窥见豹。影响人生选择的哲理往往隐含在生活细节中，如果有一颗善于发现和思考的心，平凡的生活会教给您很多事情。

“经典篇”选取了诸多日本知名度较高作家的名篇名段，或语言优美，字字珠玑；或思想深刻，耐人寻味；或以情动人，感人肺腑；或立意隽永，笔触不凡，希望重温经典能够带给您全新的感悟和触动。

由于经验不足，水平有限，本书难免有不足之处，恳请读者批评指正。

编者

2016年11月

目录 >

一 爱情篇

● 8月の図書館·····	002
八月的图书馆·····	003
● 発車の汽笛·····	008
发车的汽笛·····	009
● 恋に溺れて·····	014
坠入爱河·····	015
● 食事·····	018
下厨·····	019
● 夕映えと日焼けの頃·····	024
晚霞和晒黑的时候·····	025
● 夏の雨·····	036
夏雨·····	037
● 一枚だけ焼いたせんべい·····	046
仅有的一枚仙贝·····	047

二 友情篇

● ザクロの樹の下で·····	052
石榴树下·····	053

● 俺達の仲直り	056
言归于好	057
● 誕生日の過ごし方	060
过生日的方式	061
● 広いところ	064
宽广的心	065
● 泣き虫小僧とゆうちゃん	068
爱哭小孩和小悠	069
● 写真	074
拍照	075
● ひとりの放課後	080
一个人的放学后	081
● 仲間	086
伙伴	087

三 亲情篇

● お父さんはショベルカー	094
爸爸是铲车	095
● ハッピーバースデー	100
生日快乐	101
● バトン	108
接力棒	109
● ファミリー	116
家人	117

● 初節句.....	122
最初の节日	123
● 花言葉.....	128
花语	129
● 幸の泡.....	134
幸福的泡泡	135

四 温馨篇

● 鈍感な弟から恋愛相談を受けた.....	142
不开窍的弟弟向我咨询恋爱烦恼	143
● あるバスの中で.....	148
公交车上	149
● 普通列車.....	154
普通列车	155
● 雨大嫌い.....	160
讨厌下雨	161
● マフラー.....	166
围巾	167
● 雨.....	172
雨	173
● 運動会.....	176
运动会	177
● 批評家きどり.....	182
自诩为批评家	183

五 励志篇

● 楽しみは過程にある.....	188
快乐在于过程	189
● 夢が見つからないという人へのアドバイス.....	192
写给寻梦者	193
● 命のある言葉.....	198
有生命力的语言	199
● 青春漂流.....	202
青春漂流	203
● 生きがいというもの.....	208
人生的价值	209
● 生活について.....	214
关于生活	215
● 小さな勇気がほしい.....	220
希冀微小的勇气	221

六 幽默篇

● 空腹よりも最高のスパイス.....	228
比饥肠辘辘更棒的调味品	229
● 卵が先か鶏が先か.....	232
先有蛋还是先有鸡	233
● このはしを渡るな.....	234
不许过桥	235
● 迷子.....	236
迷路	237

● 受験生の悪夢.....	240
考生的恶梦	241
● 誰にでも.....	246
谁都可以	247
● 晩ごはんの選択から人生を語る.....	250
从晚餐选择谈人生	251
● 消えた焼き芋.....	256
消失的烤白薯	257
● 御注文を巡るゆかいな鼎談.....	260
关于菜单的愉快的三人对话	261

七 哲理篇

● わかれ道.....	268
岔路口	269
● 本当の顔.....	274
真实的面孔	275
● 旅について.....	280
关于旅行	281
● 人間の悩みとあやまち.....	284
人类的烦恼与错误	285
● 先が見えない生活のほうが人生は楽しい.....	290
无法预知未来的人生才有趣	291
● 言葉の力.....	296
语言的力量	297

八 经典篇

● キッチン.....	304
厨房	305
● 風景開眼.....	310
感悟风景	311
● 赤い蠟燭と人魚.....	314
红蜡烛与美人鱼	315
● 蜜柑.....	320
橘子	321
● セメント樽の中の手紙.....	326
水泥桶中的信	327
● 銀河鉄道の夜.....	332
银河铁道之夜	333
● 生まれいずる悩み.....	338
与生俱来的烦恼	339

一 爱情篇

8月の図書館

8月になった。夏休みに入^{はい}ってそこそこ経^たった。うん、そろそろ宿題^{しゅくだい}の多^{おほ}さを実感。そんなことよりも、夏休み。近藤君^{こんとうくん}と会う口実^{こうじつ}なんて1つもなかつた。私は結局悩^{なや}みに悩^{なや}んで、吹奏楽部^{すいそうがくぶ}に入^{はい}った。先輩^{せんぱい}から、「初心者^{しょしんしゃ}かーじゃあフルート^①にし^なない？」なんて言われそのまま流^{なが}されるようにフルート担当^{たんとう}になった。

夏休みに入^{はい}って、1度も近藤君と会^あってない。近藤君を見てもいいない。会^あいたいなあ、ああ、携帯^{けいたい}のアドレスとか交換^{こうかん}してればよかったのに。交換^{こうかん}していても、メールができるとは限^{かぎ}らないけど。

部室^{ぶしつ}に、たくさんの楽器^{がっき}の音^{おと}が混^まざる。毎日マジメに来^{まいにち}る人のクラリネット^②、サボりがちだけど家ではちゃんと練習^{れんしゅう}しているアルトサックス^③吹^ふいてる本人^{ほんにん}は楽器^にに似^に合^あわず小柄^{こがら}だけど一生懸命^{いっしょうけんめい}なテナーサックス^④とバリトンサックス^⑤、上手^{うま}いと褒^ほめられて最近^{さいきん}調子^{ちょうし}がいいトランペット^⑥、「ホーン」って歌^{うた}ってるみたいユーフォonium^⑦、最近^{さいきん}先輩^{せんぱい}後輩^{こうはい}の仲^{なか}がイマイチなホルン^⑧、よくそばをとお通^{とお}る人にスライドをぶつけるトロンボーン^⑨、ほとんど現^{あらわ}れることのないチューバ^⑩、^⑪たった1人で頑張^{がんば}っているオーボエ^⑫とバスクラリネット^⑬…その中で1人、ぼんやり^⑭と楽譜^{がくふ}を眺^{なが}める。私の目^めに映^{うつ}っているのは楽譜^{がくふ}ではなく、近藤君だった。

美文
赏析

那场怦然心动的相遇，也许只源于某个时刻你一个偶然的转身，也许只是一个美丽的错误，却令我寝食难安，给了我难以忘记的欣喜，给了我美丽的回忆。

八月的图书馆

八月，暑假已匆匆过去了大半。是的，我逐渐深切地感受到作业太多了。比起这些，更重要的是，整个暑假，我都没有找到一个借口可以跟近藤君见面。苦思冥想后，我决定加入吹奏乐社团。前辈说“初学者吗？那你就负责吹长笛吧。”我就这样被随机地安排成吹长笛的了。

自从放暑假以来，还一次都没有见过近藤君，连影子也没看到。好想见近藤君啊！啊——，要是交换了手机的联系方式该多好啊！虽然即便交换了联系方式，也未必会发短信。

社团的练习室里混杂着各种乐器的声音：每天都来社团认真练习的单簧管；爱偷懒但在家坚持练习的低音萨克斯管；虽然身材矮小，与吹奏的乐器不协调，但是拼命地练习着的高音萨克斯管和中音萨克斯管；最近被夸奖吹得好，状态绝佳的小号；好像在唱着“好好哦——”的粗管上低音号；最近前后辈关系一般的圆号；经常会被经过身旁的行人碰到滑管的长号；基本上不怎么出现的大号，以及孤单单一个人努力着的双簧管和低音单簧管……在这些人当中，有一个人，正心不在焉地望着乐谱。映在我眼里的并不是乐谱，而是近藤君。

补充学习

- ①「フルート」【名】长笛。
- ②「クラリネット」【名】单簧管。
- ③「アルトサックス」【名】低音萨克斯管。
- ④「テナーサックス」【名】高音萨克斯管。
- ⑤「バリトンサックス」【名】中音萨克斯管。
- ⑥「トランペット」【名】小号。
- ⑦「ユーフォニウム」【名】粗管上低音号。
- ⑧「ホルン」【名】圆号。
- ⑨「トロンボーン」【名】长号。
- ⑩「チューバ」【名】大号。
- ⑪「オーボエ」【名】双簧管。
- ⑫「バスクラリネット」【名】低音单簧管。
- ⑬「ぼんやり」【副】发呆，精神恍惚，无所事事，马虎。

どうしたら会えるかなあ？まさか近藤君が補習^{ほしゅう}にいたとは思えないし、図書室^あは開いてないし。不意^{ふい}に、「野球部^{やきゅうぶ}とのかけもちなんだけど」という言葉^{ことば}をおも^{おも}だ^だし^した。どうして今まで気づかなかったんだろう！？グラウンドを見ればよかったんだ！！

「トイレに行きます」などと言って、私はグラウンドの見える校舎^{こうしゃ}へ走^{はし}った。実際^{じっさい}、その校舎にしかトイレはなかった。だけど、先輩^{ひん}に一言^{ひとこと}言った瞬間^{しゅんかん}走り出す私^{わたし}を周り^{まわ}の人は変^{へん}に思ったかもしれない。だけど私は、とにかく近藤君に会いたかった。会えなくてもいい顔を見たかった。

「は…はあつ」息^{いき}を切^きらし、流^{あせ}れる汗^{あせ}をぬぐって顔^{かほ}をあげた。そこには太陽^{たいよう}に照^あらされた白^{しろ}く輝^{かがや}くグラウンド^{グラウンド}の上に、人の顔^{かほ}が見えなくなるほどの砂埃^{すなぼこり}の中に、近藤君が立^たっていた。図書室^{しんけん}では見れ^{ひとみ}ない、真剣^{まけん}な瞳^{ひとみ}。ただただ立ち尽^つくした。野球^{やきゅう}のルールなんてち^しっとも知らない。近藤君が何^{なに}をしているのかわからない。だけど真剣^{まけん}で一^{ひと}生^{せい}懸命^{けんめい}なのはわかった。だって近藤君を見てたんだから。図書室^{しんけん}の近藤君^{ろうか}も廊下^{ちが}ですれ違^{ちが}う近藤君^{まど}も窓^{まど}のず^むっと向^むこうにいる近藤君^{しんけん}も。

だから…

こっちにまで来る砂埃^{すなぼこり}を思わず手^てではらった瞬間^{しゅんかん}、近藤君^{しんけん}がこっちを見た。それから数秒^{すうびょう}近藤君^{しんけん}は、私^{わたし}に向^むかって笑^{わら}った。私^{わたし}に向^むかって笑顔^{えがお}を見せた。それから軽^{かる}く手^てを振^ふると、私^{わたし}に背^せを向^むけてまた凄^{すご}い砂埃^{すなぼこり}の中^なへ入^いっていった。そんな近藤君^{しんけん}を見て、手^てを振^ふり返^{かえ}せなかつた私はぼんやりと思^{おも}った。ああ、そっか。私^{わたし}、近藤君^{しんけん}のことが好き^{すき}なんだ。

怎样才能见到近藤君呢！怎么想他也不可能是在补习吧。图书馆也是闭馆的……忽然，我想起近藤君说过“兼任着棒球部呢”。为什么我一直没有想到呢！去操场看看说不定会有收获！

丢下一句“我去下洗手间”，我朝着能看到操场的校舍奔去。事实上，只有那栋校舍是没有洗手间的。而且，估计周围的人都觉得对前辈只说了一句话就跑了的我很奇怪吧。不过没关系，总之现在我想见近藤君——不见面也行，只是想看看他。

“哈、哈”我气喘吁吁，擦掉汗抬起头。在那里，被阳光照得银光闪闪的操场上，在几乎看不清楚人脸的沙尘里，近藤君就站在那里，目光认真，是平时在图书馆看不到的。只是始终站在那里，棒球规则什么的我一点儿也不懂，也不明白近藤君在干什么，但是我知道他很认真、很努力。因为，我一直在看着他呢。不管图书馆的近藤君，还是在走廊擦肩而过的近藤君，还有窗户那头很遥远的近藤君。

所以……

就在我不自禁地挥掉飞到我面前的沙尘的瞬间，近藤君看向我，冲我笑了，有好几秒钟。他终于对我微笑了！接着轻轻地挥了挥手，又背对我冲进滚滚沙尘里去了。看着那样的近藤君，来不及挥手的我呆呆地想：啊，是这样的。我，喜欢近藤君。

补充学习

⑭「グラウンド」【名】运动场。

汗が、コンクリートの廊下に黒いしみを作った。私はトイレではなく職員室へ走り、退部届けと入部届け（マネージャー用）をもらった。私の名前すら覚えてくれていなかった吹奏楽部の顧問にもなぜか私の名前を覚えててくれていた野球部の顧問にも挨拶した。

会う口実がないのなら、作ってしまえばいいのだ。だって今は、この気持ちだけがすべて。

桜の間からじりじりと、太陽が頭を焼く暑い暑い8月のことでした。

